

会員のひろば

題字：長塩三枝子

◇「桐生清桜、二代目和太鼓部！」を読んで、桐生西高校の文化祭で初めて和太鼓に取り組んだときのことを懐かしく思い出しました。一九九九年、生徒会係だった私は、お化け屋敷と模擬店が中心だった文化祭に少しでも文化の香りらしきものをとと思い、開会式に和太鼓を取り入れることにしました。声をかけたのは学校生



(伊勢崎市 多賀谷弘孝)

継がれた和太鼓部が、これからも「カッコいい」部として活躍してくれることを願っています。そして、私も自分の中で「カッコいい」を見つけていきたいと思う新年です。

◇「私の本棚」のヤングケアラー文中の(社会が子どもたちを支えるべき)の章がとても大切な内容で共感しました。日本の福祉は遅れていますね。「その子がどれだけ負担を抱え、どんな影響が出ているかを踏み込んで考える感覚が今の社会にはない。ヤングケアラーを美談で終らせてはいけない」これは、子どもだけでなく、社会で立場の弱い女性や、嫁ぎ先で嫁と言われる人たちにもあてはまると思います。介護の問題は子どもも女性も同じなので。表紙の和太鼓部の写真がカラーで素敵でした。フォーラムのホームページのトップ画面は、青空の写真と色合いがさわやかで見やすかったです。

(高崎市 一〇孝絵)

◇私は高崎市出身で、友人や近親者に学校関係者も多く、また教育学研究に携わってきたということもあって、長年にわたって『育ちと学び』

を読ませてもらっています。群馬県の教育の現状を知るには、私にとってなくてはならない媒体です。特に「すなっぶ」や「授業と生徒を語る」等の教育現場レポートはいつも読み応えがあり、群馬の教師や生徒の皆さんに励まされています。これからもどうぞよろしく。

(東京都練馬区 須藤敏昭)

◇拝啓 その後、お変わりありませんか。保育園の孫から私ども夫婦までウィルスが運ばれついに陽性になりました。これが本当の孫請けです。一週間薬漬けとなり、漸く謹慎解除になりました。気分転換に一つ。

自分だけ陳腐空母とってる

ロシアのクラス天狗も、この際「平家物語」を学んで頭を冷やすべきでしょう。

高橋源一郎「ぼくらの戦争なんだぜ」は収穫でした。

向寒の折、ご自愛ください。敬具

(高崎市 金井秀行)

活で「ちょっとはみ出していた」三年男子生徒たち。彼らに花を持たせたいという気持ちもありました。拙い演奏でしたが、演奏を終えた生徒の晴れやかな笑顔と体育館中に響いた拍手を今でもはつきりと覚えています。今になって思えば、あの時が演奏した生徒も見ていた生徒ももしかしたら職員も和太鼓に「カッコいい」を感じた瞬間だったのかも知れません。その場には学校評議員や区長さんがいて、その後、演奏の機会をいただきました。

先日、大間々の「ながめ余興場」を訪ねたときのこと、案内の女性が「私、桐西の和太鼓部の大ファンなんです。とっってもカッコいいですよね」と言っていました。桐生清桜高校に引き